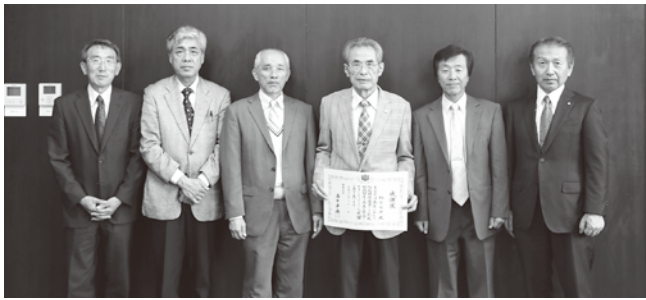


5/17 長年の活動に感謝状 桐原 唯典さん



感謝状を受け取った桐原唯典さん(右から3人目)、
新たに就任した原田正昭さん(右から2人目)

本年3月31日に行政相談員を退任された桐原唯典さん(第二駐在)に、総務大臣からの感謝状が熊本行政評価事務所から贈られ、その伝達式が庁舎応接室で行われました。

桐原さんは、平成10年6月から18年間住民と行政のパイプ役として活躍されました。後任には、元村職員の原田正昭さん(第三駐在)が就任されました。

5/13~14 支援への感謝の灯り 灯物語



一つ一つにメッセージが込められた灯籠

熊本地震への支援をしていただいた全国の方々に対する感謝の思いを形にする催し「灯物語」が2日間にわたり「道の駅あそ望の郷くぎの」で開催されました。

これは、東海大学生から成り立つ学生団体「阿蘇の灯」(代表 橋村さくらさん)が主催したもので、芝生広場に、学生と黒川地区の住民が作り上げた灯籠2,800個が並べられ、日没に合わせて点灯されました。「頑張ろう熊本!」、「いつも想っています」など全国約8,400人から村へ送られたメッセージが浮かび上がり、会場は幻想的な雰囲気と支援への感謝に包まれました。

5/20~28 花の季節に庭を開放 第8回南阿蘇・庭・めぐり



高台からの眺めも楽しめる「くにばあの花畑」

たくさんの花が咲く季節に個人の庭を開放する「南阿蘇・庭・めぐり」が本村(4カ所)、高森町(1カ所)で開催されました。

20日にはオープニングイベントとして「ナチュラルガーデン南阿蘇」(第三駐在区)でガーデンコンサートが開催。カンツォーネ歌手の藤沼哲朗さんなどが出演し、迫力ある歌声が会場に響きました。

本年度新たに開放された「くにばあの花畑」(川後田区)では、高台の敷地に野草が主に植えられ、キャッツmintや、マーガレット、宿根アイリス、シャクヤクなど色とりどりの花が咲き、来場者を迎えていました。

5/20~28 2年ぶりの開催 青葉の季節のアートフェスタ



かずらで手作りされた「あかりの樹」

村の自然豊かな環境の中で活動するアーティストたちのアトリエやギャラリーを会場とした作品展「青葉の季節のアートフェスタ」が開催され、多くの来場者で賑わいました。

昨年の熊本地震の影響で2年ぶりの開催となったアートフェスタ。村内21カ所の会場では、絵画やアクセサリー、草木染めなどの作品が展示されました。

久石地区の「かずら工芸館」では、一つ一つ手作りされたかずらの花かごや、オブジェ、インテリアとしても使える「あかりの樹」などが並び、来場者の目を楽しませていました。

5/25 温泉モニタリング用の観測井を掘削 九電三菱グループ、湯の谷グループ



観測井掘削予定の村有地

村内で地熱発電事業を計画している九電三菱グループと湯の谷グループが、地熱発電による温泉などへの影響を調べるために、平成27年11月から共同で取り組んでいる温泉モニタリング調査が、熊本地震の影響で泉源に立ち入れない温泉が生じたことから、安定的に調査できる泉源が必要となりました。

そこで、両グループは温泉モニタリング用の井戸（観測井）の掘削を長陽パークゴルフ場近くの村有地に計画し、役場で開催された阿蘇山西部地域地熱資源活用協議会に説明しました。今後の予定は、各種手続きを経て8月から掘削を開始。11月から月1回のモニタリング調査時に井戸ポンプを作動させ、温泉の温度、成分、湧出量をモニタリングすることとしています。

6/14 震災の経験を踏まえた防災計画の修正を報告 平成29年度防災会議・水防協議会



会議の冒頭あいさつする吉良村長

庁舎大会議室で、「平成29年度村防災会議・水防協議会」が行われ、陸上自衛隊第42普通科連隊など関係者73人が出席しました。

会議では、熊本地方気象台職員から本年度の気象の見通しや、村担当者から「村地域防災計画」の修正の概要などの説明がありました。

主に、熊本地震発生から災害対応が整い軌道に乗るまでのおおむね3カ月間の対応（災害対策本部の設置・運営など11項目）についてのそれぞれの検証と、改善すべき点と今後の方向性が報告されました。

5/21 南中魂ここにあり 南阿蘇中学校体育大会



スタートを切る選抜女子800m走

南阿蘇中学校（全校生徒255人）の体育大会が同校グラウンドで開催されました。

赤団、青団、黄団に分かれた生徒たちは、多くの来賓や保護者が見守る中、日頃の練習の成果を発揮。

選抜選手による800m走や1,500m走、各学年による団対抗リレーなどが行われました。

今年度も、3年生の生徒とその保護者による綱引きが行われ、一回戦で保護者に負けた生徒が「もう一度お願いします」と頭を下げる場面もあり会場を沸かせました。

終わりには、全校生徒の演技「YELL～南阿蘇村へ～」で、「I WE LOVE 南阿蘇」などメッセージを披露しました。

5/30 火の用心 ちょうよう保育園幼年消防クラブ



参加者でハートの形を描きました

はしご車の前で記念撮影

ちょうよう保育園ホールで、幼年消防クラブの園内消防大会が開催されました。

お揃いの法被に身を包んだ年長児22人は後藤真理園長から委嘱状を一人ずつ受け取り、「絶対に火遊びはしません」などと防火への誓いの言葉を年中・長児全員で元気よく述べました。

防火演技、ミニ腕用ポンプ操法のアトラクションでは、園児たちの機敏な動きに大きな拍手が送られました。園庭に阿蘇広域消防本部中部消防署のはしご車、救急車が登場すると、大きなはしご車に園児たちは大興奮。終わりには園児や保護者、職員などでハートの形を描き、はしご車から記念撮影を行いました。